

## 長時間労働をはじめとした諸問題を職場からチェックしよう！ 鉄道の安全とより良い労働環境に向け政策を練り上げよう！



### 東京五輪、建設現場は「危険な状況」労組国際組織が指摘

2019年5月16日05時00分

朝日新聞  
DIGITAL



### 東京五輪建設工事 過労死やケガで労災4人

2017年12月26日 19:48



2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた建設工事で、過労死やケガで労災と認められた人が、4人いたことが分かった。

“新国立”複数の下請け業者に是正勧告 大成建設が作業改善策

2020年東京五輪・パラリンピックをめぐる、関連施設の建設現場の労働環境に様々な問題があるとして、労働組合の国際組織が大会組織委員会や東京都、日本スポーツ振興センター（JSC）に改善を求める報告書を送った。危険な現場や過重労働の実態などを指摘し、「惨事にならないようすぐに対策をとるべきだ」としている。

度重なる豪雨や台風によって全国各地で甚大な被害が及んでいる。九州では二度にわたる豪雨により、農産物が収穫できなくなり苦悩している農家の姿がテレビに映し出されていた。

また、首都圏を直撃した台風15号は、様々な家屋や施設を破壊し交通機関に輸送混乱を引き起こした。それは鉄道にも大きな被害を及ぼし、組合員は今も復旧作業に尽力している。記録的な猛暑のなか復旧作業に務めている仲間たちへ敬意を表したい。

JR総連は、今後のAIやIoTなどの技術革新に踏まえ、各単組との議論を通じて「政策づくり」を行っていく。その中で、変化し続けている「自然の猛威」を政策づくりに反映させ、未来を見据えた鉄道の安全と働く環境を提言していく。

東京オリンピックの開催に向け作業している方が長時間労働によって過労で亡くなったことが報道されていたように、時として時間に追われる作業には、長時間労働がつきまとうことが多い。特に復旧作業となれば尚更である。

猛暑のなか復旧作業を行っている仲間たちの命と安全を守るためにも、労働組合として組合員の労働時間を把握し、法令違反や危険が及ぼす恐れのないように、職場から声を上げ、チェック機能を発揮していかなければならない。

全組合員で安全風土を職場から築き上げていこう！



台風15号被害の復旧作業

